

2 親子読書文庫

当初7つの文庫で出発したこの文庫も、年々増設し、今年度は国際児童年ということもあって、予算化も伴ない、28セット編成し、小学校18、公民館2、地域文庫8の地区において実施した。各文庫ともそれぞれに工夫をこらし、利用につとめているが、今日言われている子ども達の活字はなれの傾向は、報告書の中にも見られ、高学年になるにつれてこの傾向を示していることは、今後の読書指導の重要な課題であろう。また文庫の設置は、家庭、地域文庫等に根をおろすことが、望ましい姿であるが、これらは都会地以外には困難であり、農村部においては学校に頼らざるを得ない実情である。今後は配本の効率化、市町村自体への啓蒙等を考慮して、一市町村複数設置を行って、活発化を図って行きたい。

本年度実施地区は次の通りである。

県北	国見町	国見親子読書文庫
	国見町	森江野小学校
	梁川町	五十沢小学校
	白沢村	糠沢小学校
	二本松市	公民館亀谷分館
	本宮町	まゆみ文庫
県中	郡山市	月形小学校
	古殿町	大原小学校
	大越町	下大越小学校
	常葉町	関本小学校
	三春町	オアシス文庫
県南	大信村	信夫第一小学校
	西郷村	米小学校
	東村	釜子小学校
	塙町	高城小学校
	棚倉町	山岡小学校
会津	西会津町	黒沢小学校
	昭和村	野尻小学校
	会津若松市	居合団地文庫
	〃	金川婦人会文庫
南会津	桧枝岐村	桧枝岐小学校
	下郷町	南小学校
	田島町	中荒井文庫
相双	飯館村	白石小学校
	大熊町	公民館
いわき	いわき市	四倉小学校
	〃	ともだち文庫
	〃	中迎自治会文庫

3 広報・普及事業

(1) 館報「あづま」の発行

第30巻1～2 3号(通巻197～198号)を発行した。

B5版 8ページ 2,000部

198号では特に県立図書館新築に関連して、県立図書館建設委員会報告書の解説、委員長堀口明知氏の随想、クローバー子供図書館長金森好子氏の県立図書館未来像といったことについて執筆を願った。

(2) 「みんなの調査相談室」

53年度に寄せられた調査相談の事例について図書館の調

査方法の具体例を紹介し、調査相談業務のPRを行った。

(3) 「こどもは本がだあいすき」

現在最も必要とされている子どもの読書について、身近な例を示して、文庫活動を進める母親たちの手引き書といふべきものとして、配布し、好評を得た。

(4) 「昭和54年度県内公共図書館・公民館図書室の概況」

図書購入費、蔵書冊数、利用状況等の調査結果を一覧にし、各館の今後の運営の資料として配布した。

(5) 第27回福島県図書館大会・第30回北日本図書館大会の開催

- 主 題 住民が期待する図書館奉仕
- 期 日 昭和54年5月24日～25日
- 会 場 福島市市民センター(福島市飯坂町)
- 参加者 図書館 公民館職員、図書館協議会委員、公民館運営委員、社会教育関係職員、家庭 地域文庫関係者、利用者 300名
- 講 演 「行財政の立場から図書館発展の方策を探る」
日野市財政部長 前川 恒雄 氏
- 事例発表 図書館奉仕の多様化に対処して 多賀城市
これからの図書館づくり 郡山市
公民館図書室の整備について 胆沢町
公民館における読書活動 本宮町
学校教育と子どもの読書 山形市
「親子読書」をふりかえって 田島町
- 分科会 ① これからの図書館奉仕はどうあるべきか
② 公民館図書室の運営について
③ 子どもの読書について

(6) 図書館職員研修会

- 主 題 図書館員のための読書法
横浜市立山内図書館司書 酒川 玲子 氏
- 期 日 昭和54年11月26日
- 会 場 郡山市中央公民館
- 対 象 公共図書館 公民館 学校 大学図書館等の職員 120名

(7) 子どもの本研究講習会

- 主 題 絵本を中心とした手づくり絵本について
絵本作家 松井 紀子 氏
- 期 日 昭和54年10月25日
- 会 場 福島市中央公民館
- 対 象 図書館 公民館職員、幼稚園職員、文庫の母親等 70名

この講習会は「著者と読者の集い」として郡山市(55 2 13)会津若松市(55 2 14)開催、好評をほくした。

(8) 職員県外研修派遣(協会)

- 見学先 栃木県西那須野町図書館
- 期 日 昭和54年10月9日
- 参加者 棚倉町図書館、伊達町、保原町、長沼町、船引町、矢吹町、河東町各公民館

(9) 公民館職員図書館実務講習会(協会)

- 主 題 公民館図書室の運営について
県立図書館館外奉仕課長 赤座 信道
- 期 日 昭和55年3月18日
- 会 場 郡山市中央公民館
- 対 象 県中地区公民館図書室担当者 15名